

世界保健機関 (World Health Organization)

20, Avenue Appia - CH - 1211 Geneva 27 - Switzerland - Tel. +41 22 791 2111 - Fax.: 41 22 791 3111

Ref.: C.L.19.2007

世界保健機関 (WHO) 事務局長は、加盟国および準加盟国に敬意を表し、国際疾病分類 (ICD) と世界保健機関憲章第 2 条 (s)、第 21 条 (b)、第 22 条、第 64 条の規定に基づき 1967 年 5 月に採択された「世界保健機関分類規則 (WHO Nomenclature Regulations)」について言及する光栄に浴するものである。

ICD は国際統計会議 (International Statistical Congress) において 1853 年に初めて創出されたものである。1948 年以降、WHO は ICD に責任を負うこととなり、これまで 5 回の改訂を逐次実施してきた。ICD-10 は、1990 年の世界保健総会 (決議 WHA43.24) において、10 年毎の改訂の合間に一部改正するプロセスを確立するようにとの勧告付きで採択された。

過去 60 年にわたり、ICD は一般疫学全般や多くの保健医療活動で利用する国際標準の分類となってきた。世界保健機関分類規則に従って、死亡および疾病統計を集計している加盟国は、世界保健総会によってその都度採択される ICD の最新の改訂版に基づいて統計を集計するものとする。

1990 年の世界保健総会による委任を受けて、WHO は新たな科学的知識 (例: 重症急性呼吸器症候群 (SARS) や新興疾患) を組み入れるための一部改正プロセスを確立し、また分類をさらに広範に適用させることができるように 2015 年までに ICD を改訂することを体系的に計画した。このプロセスを開始するにあたり、多くの WHO 協力センターおよび他の関係者と議論を重ねた結果、改訂計画が立案された。秩序だった一連の手法を用いて、現行の ICD-10 を改訂することにより、次世代の分類につなげようとするものである。ICD-11 への改訂は次の三段階にて進行する。

- (1) 分類に関係する科学、臨床および公衆衛生面でのエビデンスの体系的なレビューおよび関係者からの改訂に係る提案の収集。この情報はインターネットのサイト: extranet.who.int/icdrevision に蓄積される。このサイトは 2007 年 4 月 16 日までに全ユーザーに開放され、2 年間にわたってコメントを集積する。
- (2) ICD-11 草案の作成および同案のフィールドテストの実施 (2009 年~2012 年)。
- (3) 2015 年の世界保健総会における採択および適用。

C.L.19.2007

この改訂プロセスにおいて、死亡および疾病の報告というこれまでの ICD の形式および利用法は、連続性と整合性を確保するため維持されるものとする。様々な利用者の付加的なニーズを満たすため、分類改訂版はプライマリーケア用、臨床専門領域用、および研究用という分野横断的に用いることのできる3つの形式を有することとなる。電子化された保健情報システムに ICD を適用するため、標準化されたデータ処理と情報交換に活用されるように、標準化された医療用語（ターミノロジー）へのリンクが意味のある形で組み入れられる。

WHO は、提案された ICD 改訂プロセスについて加盟国および準加盟国から、見解が寄せられることを期待し、また利害関係者が関連作業の様々な局面に参加することで改訂活動に貢献することを呼びかけるものである。

WHO 事務局長は、この場を借りて、加盟国および準加盟国に対し、改めて最大限の敬意を表すものである。

ジュネーブ 2007 年 4 月 13 日